

いけばた・さかどいせき

池端・坂戸遺跡

(伊勢原市No.170 遺跡)

調査期間
20071101～20071215
20080201～20080315
20080801～20081031
20100901～20101115

所在地
伊勢原市伊勢原

時代
縄文
奈良・平安
中世
近世



作成日:20100219 更新:20111027

概要

本遺跡の発掘調査は神奈川県平塚土木事務所による緊急地方道路整備工事に伴うもので、平成 19・20・22 年度の3度にわたり実施しました。

本遺跡は伊勢原市役所の南側に広がる伊勢原台地上に立地する遺跡で、伊勢原市No.170 遺跡の範囲内では沼目(ぬまめ)・坂戸遺跡をはじめとして、池端・椿山(つばきやま)遺跡や池端・金山(かなやま)遺跡、池端・駒形(こまがた)遺跡等、過去に多くの発掘調査が行われてきました。その結果、本遺跡を含めた一帯に縄文時代中期から後期にかけての集落が営まれていたことが明らかになっています。

平成 22 年度にはその集落の西側にあたる部分の調査を行い、縄文時代の土坑やピット、縄文土器等を確認しました。集落の中心部に比べると、遺構や遺物の密度がやや薄くなる傾向が見られることから、この辺りは集落の中心部から少し外れたところに位置していると考えられます。

出土品整理では発掘調査で得られた多くの情報を整理し、報告書刊行に向けて様々な作業を行います。過去の調査成果と平成 22 年度の調査成果も併せて、本遺跡の全体像について考えていきたいと思えます。また、周辺の遺跡も含めて検討することによって、伊勢原市No.170 遺跡内に営まれていた縄文時代の集落の様子をより詳しく知ることができると思われます。



▲ H22 年度調査地点と県道 44 号



▲ 池端・坂戸遺跡で出土した縄文土器

--	--